

Annual Report 2024

2024年度は以下の **8つの柱** に基づいて事業を実施しました。

助 成

- ① 海上交通におけるバリアフリー施設整備の推進（日本財団助成事業）
- ② 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業（日本財団助成事業）
- ③ ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

情報提供

- ④ 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

教育・啓発

- ⑤ 交通サポートマネージャー研修の実施
- ⑥ 公共交通事業者等に向けた手話教室の実施
- ⑦ バリアフリー推進のための勉強会等の実施

調査研究

- ⑧ 高齢者・障害者等の移動円滑化のための調査研究

1. 海上交通におけるバリアフリー施設整備の推進

離島等における高齢者・障害者等の日常生活及び社会生活航路として重要な旅客船及び旅客船ターミナルのバリアフリー施設整備に対して助成を行い、離島等における高齢者・障害者等の移動の円滑化を図る事業です。日本財団の助成金を活用して実施しています。

【募集期間】 6月1日～7月31日 [2次募集] 10月16日～12月16日

【審査委員会】 9月13日（2次募集は書面審査）

- 2024年度の助成金の交付件数は18件（旅客船13隻、旅客船ターミナル5か所）
- 旅客フェリー等における車椅子使用者等が利用しやすい客室扉の実用化に向けた検討を実施



■鹿児島県／甕島商船
結Lineこしき

【対象設備】 エレベーター、
バリアフリートイレ 等



■香川県／四国フェリー
第三しようどしま丸

【対象設備】 バリアフリートイレ、
バリアフリー客室 等



容易に開閉できる扉のモックアップ製作

2. 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業

2020年パラリンピック東京大会を契機として、「共生社会ホストタウン」の拡大等、地域における共生社会実現に向けた機運が醸成されるなか、日本財団より造成された基金を活用し、地域における先進的なバリアフリーの取組みに対して支援を行っています。

- リフト付き空港アクセスバスの導入に対する助成を実施
[助成対象] 岡山電気軌道、弘南バス、大分交通、芸陽バス（計4件）
- 空港施設整備(小型航空機への搭乗設備)に対する助成を実施
[助成対象] 丘珠空港、三沢空港（計2件）
- 共生社会ホストタウンを対象に「心のバリアフリー推進事業」を実施
[支援対象] 広島市、大館市、福島市、志摩市
- 「共生社会バリアフリーシンポジウムin札幌」を開催
- 学校避難所のバリアフリー整備を支援

- ・ コミュニティセンターを併設する明石市立朝霧中学校の体育館トイレ及び入口スロープの改修に助成しました。トイレは中学校とセンター双方が使用し、災害時には福祉避難所として利用されます。
- ・ ソフト対策として、地域では要支援者の避難計画の策定が進められています。



弘南バス／リフト付き車両



2室のバリアフリートイレに、大型ベッド(写真左)とオストメイト用設備を分散して配置

3. ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

交通バリアフリーに関わる先進的な調査研究や活動、技術の研究開発を行う若手研究者等に対して助成を行い、国内の交通バリアフリー促進に寄与する事業を実施しています。

【申請受付期間】 11月1日～11月30日 ※2025年度の研究・活動事業

【審査委員会】 2月20日（対面とオンラインのハイブリッド形式）

2025年度助成事業（計7事業）

■一般部門

- ①知的障害児・発達障害児及びその家族の空港・航空機利用に関する映像メディアを用いたバーチャルシミュレーションの効果検証
- ②精神障害者運賃割引が外出行動、生活の質等に与える影響に関する研究
- ③認知症の人と高齢者の公共交通施設における図記号と交通標識の理解度調査
- ④画面の指さしで応答する聴覚障害者のコミュニケーション支援サイトの有効性検証
- ⑤視覚障害者の駅ホームからの転落・ヒヤリハット事象のヒューマンエラー分析

■研究・活動部門

- ⑥移動困難者の外出を社会で支えるために～福祉交通の危機的状況の解消～
- ⑦障害者・高齢者の公共交通利用における情報バリア解消について
— 医療・介護関係者等に対する「公共交通利用教育」に関する取組 —

- 2024年度の採択者と審査委員との意見交換会を実施
- 2023年度の助成事業の成果報告会(第17回)を開催

4. 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

高齢者、障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、駅構内のバリアフリー施設、乗り換え案内のバリアフリー情報をインターネット等で提供するシステム(らくらくおでかけネット)を運営しています。

【総アクセス数】 ※2024年4月1日から2025年3月31日まで
約1,542万件 (約4万2,200件/日)

- 交通事業者への調査を行い、新規及び変更のあった駅情報の更新を実施
- 「らくらくおでかけネット」のアクセス数は増加傾向
※前年度比1.3倍 (2023年度の総アクセス数は約1,185万件)
- 他事業者間の乗換経路情報の充実を図るための検討を実施

- ・ 2024年度は、東京都内の大規模ターミナル駅の一つである「池袋駅」、観光需要が高い「浅草駅」の2駅を対象に検討を実施しました。
- ・ 各駅において障害当事者との現地調査、意見交換を実施し、テキストによる他事業者間の乗換経路案内を作成しました。



「らくらくおでかけネット」トップページ



乗換案内作成のための現地調査の様子(浅草駅)

5. 交通サポートマネージャー研修の実施

交通事業者のバリアフリー待遇・介助水準の向上、バリアフリーへの理解促進を図るため、障害当事者が講師として参画する交通事業者向けバリアフリー研修(交通サポートマネージャー研修)を実施しています。

【開催回数】 計6回 鉄道・バス合同の研修を首都圏・関西圏で各3回開催
※関西圏の3回は、京都市交通局の単独研修1回を含む

【受講者数】 186名 累計受講者数：2,407名(2024年度末時点)

- 事業者内のリーダーを養成する上級研修を1回開催(12名修了)
- 研修内容の改善や普及促進のための取組みを実施

- ・ 講師とのオンライン意見交換会
- ・ 高齢者の公共交通の利用実態調査
- ・ 障害当事者リーダー養成研修の共催(講師の育成)

- 旅客船事業者向けバリアフリー研修を3回開催(48名修了)
- 個別事業者向けの「導入編」研修を2回実施(53名修了)

- ・ 「導入編」を実施した交通事業者と連携して、障害当事者参加による新幹線駅(2駅)での検証調査を実施



バス車両を用いた実技の様子
(交通サポートマネージャー研修)



新幹線駅での検証調査の様子
(車両とホームの段差・隙間縮小対策箇所)

6. 公共交通事業者等に向けた手話教室の実施

障害の理解と聴覚障害者の公共交通機関による移動円滑化を図るため、公共交通事業者等に従事する方を対象とした手話教室を開催しています。

【対 象】 主に交通事業に従事している方(初めて手話を学ぶ方を対象とした入門編)

【開催形式】 オンライン

【開催期間】 全10回のカリキュラムを2回開催

[第1期] 6月11日～9月10日

[第2期] 9月24日～12月17日

【修了者数】 全回数の7割以上を出席した方を修了者に認定

[第1期] 7事業者 14名

[第2期] 7事業者 12名



手話教室の様子(オンライン開催)

■勉強会・セミナー等の開催実績（2024年度）

① バリアフリー推進勉強会

- 第73回** みんなで考える共生社会の実現を目指したセミナー 【参加者数】110名
日時：2024年5月24日(金) 会場：さんふらわあターミナル(別府) / オンライン
- 第74回** 失語症の方のためのおでかけサポートカード公開 【参加者数】71名
日時：2024年7月19日(金) 会場：出版クラブ 3階 ホール A / オンライン
- 第75回** 旅客船におけるバリアフリー化推進セミナー@広島 【参加者数】36名
日時：2025年3月21日(金) 会場：広島港湾福祉センター 5階 大会議室

② バリアフリー推進勉強会 in 関西

- 第19回** 「大阪・関西万博」に向けて誰もが円滑に移動できる接遇・介助を考える
～「交通事業者向けバリアフリーサポートBOOK」の活用！～ 【参加者数】120名
日時：2024年9月20日(金) 会場：ホテル プリムローズ大阪 2階 鳳凰
- 第20回** 誰もが快適に利用できる公共交通機関に必要なこと
～「交通事業者向けバリアフリーサポートBOOK」を通して～ 【参加者数】75名
日時：2025年2月14日(金) 会場：難波御堂筋ホール 8階 ホール8A

③ 日本福祉のまちづくり学会等との共催セミナー

日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会連携セミナー「日本はLRTを使いこなせるのか？」

主催：日本福祉のまちづくり学会事業委員会

日時：2024年8月30日(金) 会場：一般社団法人 北海道開発技術センター 大会議室

8. 高齢者・障害者等の移動円滑化促進のための調査研究

2021年の東京オリンピック・パラリンピック開催後、移動円滑化に関する様々な施策の進展がみられました。施設整備のみならず、設備を円滑に使うための役務の提供、情報提供や接遇・介助に関するガイドラインも整備され、アクセシビリティの確保が求められるとともに新しい課題が生まれています。そこで、移動円滑化の促進に資することを目的として、バリアフリーの様々な課題に関する調査研究を実施しています。

- 中央大学、全国空港事業者協会等と連携し、ユニバーサルデザインに関する空港施設の調査(診断)を実施
【調査対象】 対馬空港、高松空港
- 見えにくい障害に対する移動円滑化推進の取組みとして、空港でのセミナーや搭乗体験会を開催
 - ・ 目に見えにくい障害に関するセミナー 【秋田空港、新千歳空港、羽田空港】
 - ・ 空港施設や航空機の利用に関する事前搭乗体験会 【伊丹空港】
- 移動円滑化におけるICT活用の方向性に関する意見交換(ワーキング)を実施
- 障害者差別解消法を解説したリーフレットの改定を実施
- 移動円滑化評価会議、サインに関するJIS関連委員会等への参加を通じて交通バリアフリーの動向を把握



搭乗体験会の様子



障害者差別解消法の解説リーフレット(改定版)

■その他の活動報告（2024年度）

① 他団体が主催するイベント等の共催

- ・ DPI障害当事者リーダー養成研修 / DPI日本会議
- ・ 目に見えにくい障害に関するセミナー / 中央大学研究開発機構、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会、一般社団法人全国空港事業者協会、定期航空協会
- ・ 日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会連携セミナー「日本はLRTを使いこなせるのか？」
/ 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会事業委員会

② 他団体が主催するイベント等の後援

- ・ 日本福祉のまちづくり学会第27回全国大会(北海道科学大学)
/ 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会事業委員会
- ・ 第38回リハ工学カンファレンスin東海 / 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
- ・ 2024年度第16回全国精神保健福祉家族大会 / 公財社団法人全国精神保健福祉会連合会
- ・ 第21回ピポ・ユニバーサル駅伝大会 / NPO法人コミュニケーション・スクエア21

③ 他団体が主催するイベント等の協賛

- ・ 「私とみんなつ」小学生新聞コンクール / 一般社団法人日本民営鉄道協会

■その他の活動報告（2024年度）

④ 委員会等への出席

【委員会（1/2）】

- ・ バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会 / 国土交通省総合政策局バリアフリー政策課
- ・ 公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会及び関連ワーキング
/ 国土交通省総合政策局バリアフリー政策課
- ・ 子育てにやさしい移動に関する協議会 / 国土交通省総合政策局バリアフリー政策課
- ・ 日ASEANバリアフリー専門家会合 / 国土交通省総合政策局国際政策課
- ・ JISS0052改正原案作成委員会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・ ダイナミック・サイン国際標準開発国内委員会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・ JISZ8210原案作成委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ 図記号作成分科会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ ISO/TC145/SC1 国内委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ アクセシブルデザイン推進協議会(幹事会メンバー) / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ AD国際標準化委員会 / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ ISO/TC173/SC7 国内検討委員会 / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ 新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会
/ 公益財団法人共用品推進機構
- ・ ISO/TC178 国内審議委員会 / 一般社団法人日本エレベーター協会
- ・ JISZ9098原案作成委員会 / 公益財団法人日本保安用品協会

■その他の活動報告（2024年度）

④ 委員会等への出席

【委員会（2/2）】

- ・ JISZ9098(災害種別避難誘導標識システム)原案作成委員会分科会 / 公益財団法人日本保安用品協会
- ・ ふじのくにユニバーサルデザイン推進委員会 / 静岡県くらし・環境部県民生活局
- ・ 東京国際空港ターミナルユニバーサルデザイン評価委員会 / 東京国際空港ターミナル株式会社
- ・ 2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドライン検討会（オブザーバー）
/ 公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
- ・ 秋田空港ユニバーサルデザイン基本計画策定委員会 / 秋田空港ターミナルビル株式会社
- ・ オーバーツーリズム関連ピクトグラム通用性の確認 / 株式会社JTB

【講師・講演】

- ・ 国土交通大学校令和6年度専門課程バリアフリー施策基礎研修
/ 国土交通省総合政策局バリアフリー政策課
- ・ 令和6年度バリアフリー講習会in別府国際観光港 / 国土交通省九州運輸局
- ・ 人権問題体験学習会 / 公益財団法人東京都人権啓発センター
- ・ バリアフリー／ユニバーサルデザイン入門1 / 慶応義塾大学経済学部
- ・ 令和6年度保健医療福祉行政論Ⅱ講義 / 国際医療福祉大学大学院
- ・ 令和6年度千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 / 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局